

蕨 工 ニュース

県立蕨崎工業高等学校 企画・広報部
第37号 2007.11.07

第45回蕨工祭開催
台湾より高校生が訪問交流
国体準優勝
省エネカー“もてぎ”を快走
高校芸術祭に向けて

第45回蕨工祭開催 祝 3-1 3-5優勝(同点)!



「Keep on running ～栄光のゴールを目指して～」をテーマに掲げ、第45回蕨工祭が、10月12日(金)、13日(土)の2日間にわたり開催されました。今年は趣向を変えて、クラスの製作物が、筏とピタゴラスイッチどちらかの選択制となりました。これは初めての試みでしたが、2年6組と3年5組が、ピタゴラスイッチに挑戦しました。



2クラスとも大成功を収め、会場は大いに盛り上がりました。また、今年から、クラス対抗リレーが競技種目に加わり、グ



ラウンドは熱気に包まれました。教室では各学科や文化部、委員会の展示を行うなど、本校での日頃の取り組みを来校者の方々に見て頂ける良い機会となりました。



台湾の高校生が学校訪問

10月23日に台湾国立嘉義高級家事職業学校の女子生徒35名と引率教員6名が本校を訪れ交流を行った。歓迎会の後、5グループに分かれ(1)パソコンで写真入りのハンカチを作成



(2)電子顕微鏡でのミクロ

の世界探訪(3)シンクロスコープで不思議な波形の観察(4)保育実習の事前調査(5)英語での日本の文化紹介、それぞれの授業を本校生徒と一緒に体験した。1時間の短い授業体験ではあったが、互いの積極的な交流により友好が深まった。その後、茶道部によるお茶を楽しみくつろいだ。交流会では本校の剣道部による練習風景の披露や台湾の生徒による剣道飛び入り



体験も行われた。また太鼓部の勇壮な演奏には感嘆の声が上がっていた。次に台湾の生徒によるテーブルパフォーマンスと華麗な集団ダンスが披露された。最後のフリータイムではメッセージカードやお土産等の交換が行われ、言葉の壁を超えて、会場は一気に和やかな雰囲気に包まれた。時間の経過



授業に参加する台湾の女子生徒
 二 藤崎工高

この日は厳政セレモニ
 ーの後、授業でパソコンを
 使ったアニメーション製
 作、電子顕微鏡を使った
 職業学校の生徒が、十三
 日、藤崎工高を訪問し、
 進部生徒がたまた抹茶を
 楽しんだほか、剣道部の
 練習や太鼓部の演奏も見
 学した。

台湾の生徒34人
 体験授業で交流
 藤崎工高
 台湾国立嘉義高級家事
 職業学校の生徒が、十三
 日、藤崎工高を訪問し、
 体験授業を通して交流し
 た。

も忘れるほどの盛り上がりの中、見送りの時を迎えた。

国体準優勝 近藤君

10月5～8日にかけて
 秋田県潟上市で行われた
 秋田わか杉国体レスリン
 グ競技に本校より6名の
 選手が参加し、55kg級の
 近藤諒(3-3 双葉
 中学校出身)が準優勝、
 66kg級の前田開拓(3-3 小淵沢中学校出身)が5位入賞



山梨日日新聞
近藤 諒
 少年55kg級
 悔しきバネに飛躍期す
 秋田わか杉国体
 山梨日日新聞

を果たした。近藤は、今年の全国高校総体でベスト8、全国グレコローマン選手権で5位と今一步で表彰台を逃していたが、最後の大会で全国の2位と3位の選手を破って準優勝を果たした。前田は、3回戦で今大会準優勝した選手にラスト数秒で逆転を許してしまい、惜しくも表彰台を逃した。近藤、前田の両名は、大学へ進学し、レスリングを継続する意志を持っている。今後の更なる飛躍を期待したい。

エコカー部・課題研究チーム ツインリンクもてぎで燃費テスト



のです。結果は、昨年の記録(232km/l)を大きく上回る302km/lでゴールすることができました。

10月6、7日にHondaエコノパワー燃費競技全国大会が行われました。本校からは2台の省エネカーが出場しました。エコカー部の車両は昨年の記録(587km/l)をさらに伸ばし757km/lでゴールしました。もう1台の車両は、昨年の3年生が、課題研究の授業で新規に作り始めたものを、今年の3年生が完成させたも

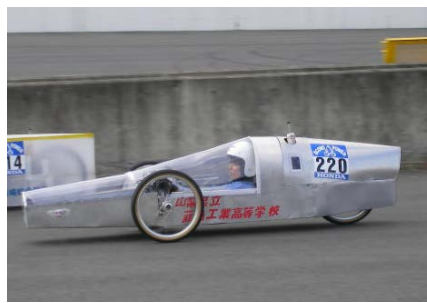


写真 生徒たちの活躍 撮ってやるぜ!!



藤崎工高写真部・加賀美悠二郎さん(3年)、尾前駿也さん(2年) 専属カメラマン、スタンバイ

専属カメラマン、スタンバイ
 一文藝で毎年、生徒たちの活躍を記録写真として取めるのが、専属カメラマンたちだ。11月8日のパレード風景や23日の日本音楽部門を担当するのは藤崎工高写真部の生徒で、加賀美悠二郎さん(3年)、尾前駿也さん(2年)の高一エースらがどんなドラマを撮るのかが楽しみだ。
 2人は校内の写真コンクールで幾度かの入賞経験を持つ実力派。シャッタ

高校芸術祭に向けて頑張る写真部

11月8日から高校生文化局の祭典である山梨県高等学校芸術文化祭が開催されます。本校写真部は写真部門の出品ばかりではなく、各部門の記録写真の撮影も行います。それぞれ撮影条件が異なりますが、最良のチャンスを生かして心に残る1枚を撮りたいと思っています。また写真部門でも芸術文化祭賞をねらいます。



藤崎工高の写真部員たち。一文藝の専属カメラマンとして活躍している生徒もいる

URL <http://www.Nirasakith.kai.ed.jp>
 e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp